

中学校  
1年

# おにぎりぼうやのままでいて

八尾市立上之島中学校

教科

家庭

単元名

食事の役割と食習慣

## 単元でつきたい力（ステップシートの項目）

### 本単元で育む主な情報活用能力

（教科等でつきたい力）

G-STEP 4, F-STEP 4

栄養バランスの整え方について考え、実践できる力。

該当番号の詳細内容は

（学校図書館等の活用でつきたい力）

絵本の楽しさを味わい、本に親しみを持つ。

本の世界から想像をふくらませ、現実世界での実現を考えられる力。

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



## 単元における学習の展開（全4時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

（T1 家庭科教諭 T2 栄養教諭）

|               |  |
|---------------|--|
| 第1次<br>(1時間)  | ・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。(T1)  |
| 第2次☆<br>(1時間) | ・既習の五大栄養素について復習・確認する。(T1)<br>・朝食の必要性について確認し、栄養バランスのよい朝食について考える。(T2)<br>・絵本『パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち』を読む。(T1)                                      |
| 第3次☆<br>(1時間) | ・絵本『パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち』を読む。(T1)<br>・栄養バランスもよく、魅力的なおにぎりについて考える。(ワークシートは文化祭で展示予定) (T1・T2)<br>・班で、自分の考えたおにぎりについて交流し、班として代表するおにぎりを考える。(T1) (本時) |
| 第4次<br>(1時間)  | ・班ごとに考えたおにぎりを、学級で発表し合う。(T1・T2)<br>・健康に関係する食習慣について学び、自身の生活習慣・食習慣について振り返る。(T1)   |

## 本時のねらい

朝食などにおいて、手軽に食べられる栄養バランスのよいおにぎりについて考えることができる。

## 本時の展開

（本時：第3次）

| 学習の流れ        | 主な学習活動と内容  | 学校図書館活用のポイント<br>及び指導上の留意点   |
|--------------|--|---|
| 導入<br>(10分)  | ・前時の振り返りをする。(T1)<br>・絵本『パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち』を読む。(T1)<br>・米のよさ、おにぎりにすることの利点について確認する。(T2)<br>・物語に登場するおにぎりぼうやが、どんな魅力的なおにぎりを提案されれば、パンどろぼうにならなかったのか、を考える。(T2)   | ・課題に意欲的に取り組めるよう、絵本の楽しさを味わえるよう読み聞かせる。  |
| 展開<br>(30分)  | <b>主題『おにぎりぼうやのままでいて<br/>～栄養バランスのよい魅力的なおにぎりを考えよう～』</b><br>栄養バランスのよい魅力的なおにぎりについて考える。(T1・2)<br>おにぎりを考えるにあたっての条件や、簡単なおにぎりの例を提示する。<br>例) 枝豆鮭おにぎり<br>・炭水化物(ごはん)の他に、五大栄養素の中から他の栄養素を2種以上とれるもの。<br>・朝食などに手軽に食べられる。<br>・スーパーなどで購入可能な身近な食品を使用する。<br>・レシピ本などを参考にしてもよい。<br>・アピール内容(彩り・形など)<br>考えたおにぎりをワークシートに記入させる。<br>時間配分予定 (個人活動 → 班活動 計15分) | ・五大栄養素について簡潔に振り返り、考える上での条件をしっかりと確認しておく。<br>・レシピ本を活用してもよいが、内容をそのまま転記するのではなく、アレンジして活用させる。<br>・考えがまとまらない生徒には、机間巡視で補助的意見を伝える。 |
| まとめ<br>(10分) | 各自考えたおにぎりを班内で交流し、班を代表するおにぎりを選ぶ。(T1)<br>本時の学習での気づきをワークシートに記入する。<br>『おにぎりアクション』への参加を知る。(T1・2)<br>全員のプリントを提出する。   | ・交流を通して、自身の案を振り返らせる。<br>条件を満たすおにぎりになっているか、再度確認させる。<br>『おにぎりアクション』で自分の作ったおにぎりで社会貢献ができることを知らせる。                             |